

Machi + Midori

まちとみどり

AUTUMN & WINTER 2023 45

いつか
おとな
大人になる
君たちへ。



おもちじゃないよ、本物のスコップだよ！
 土って、あつたかいんだね。

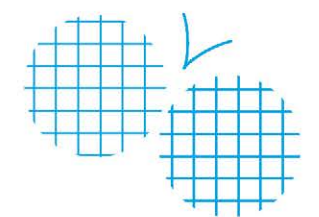


Machi +o Midori

Machi(まち)にも、Midori(緑)にも、1(人)がいる。それをつなぐ to(と)は、ポジティブな「+」プラス。」と「〇丸。」で表し、まち全体が花と緑と共生する人々であふれますように——という願いが込められている。

いっか
 大人になら
 君たちへ。

太陽の光、水の循環、植物の営み、
 これらの恩恵を受けて、
 小さな地球の中で生かされている私たちの命。
 ここ福岡市には、自然界と共存するためのたくさんのヒントがある。



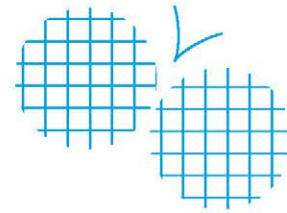
- 04 情緒を、育む。
 - 08 未来へ、つなぐ。
 - 14 ボタニカルライフスクエアで会いましょう。#01
 - 16 花でまちに彩りと潤いを！
福岡都市部にあなたも「おもてなし花壇」を持ってみませんか？
 - 18 福岡市緑のまちづくり協会事業のご案内
45号読者アンケート & プレゼント！
- PICKUP
 都心の森1万本プロジェクト

ちやいろ
たね
茶色いね
種、
Sweetピーの種



「これは、さやえんどうじゃなくて、白いSweetピーです」見た目がそっくりなので、子どもたちはびっくり！今日は、花が咲き終わったSweetピーの鞘から種を取ります。

体感が、心の栄養になる



情緒を、育む。

ふくおかしちゅうおうくいまいずみ
福岡市中央区今泉にある
あいくるの屋上緑地帯。
君たちに伝えたい、大切なメッセージ。

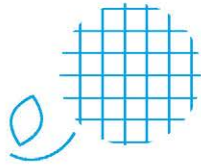
ふわふわ、カサカサ、もじゃもじゃ、
今日採まえた自然は、どんな感じ？



ダンゴムシ、見つけたよ！



次は、草を間引いてペチュニアやアップルミントの苗を植えます。でも、ダンゴムシを見つけたら作業は中断。だって、ツンツンしたいからね。



小さいにんじん、味はどうか？



ペットボトルで育てているのは、にんじんです。種まきから約3か月で間引きをすると、わあ、びっくり！小さなにんじんが抜けたよ！持って帰ってサラダに入れたり、天ぷらにしたりして、採れたてのおいしさを味わってね。

屋上で自然を感じる

「え！ 天神の真ん中で植物を育てる？」と驚かれますが、あいくるでは毎月第一土曜日の午後、花や緑に親しむ活動「グリーンタッチ」を行っています。教えてくれるのは、緑のコーディネーターの皆さんです。



福岡市内のさまざまな場所で活動している緑のコーディネーターを活用しませんか？



草花でブーケを作ろう！

あいくるの屋上から、みんなで摘んだ草花と、緑のコーディネーターさんが準備したハーブを組み合わせて、世界にひとつだけのブーケを作ったよ。



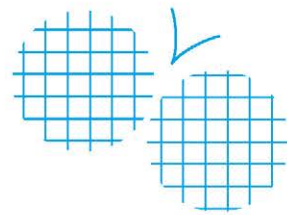
1 レモンユーカリ、2 マートル(銀梅花)、3 ツリジャーマンダー、4 モヒートミント、5 フレンチラベンダー、6 オルレア



長さが違う草花を組み合わせるのは難しいね。でも、紙で包んでぐるぐるの紐を巻いて上手に結んだら、ミニブーケのできあがり！「あれ？ 手からいい匂いがするよ」。



小さなお手女でリボンをくるり



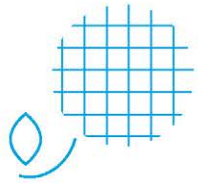
できあがったブーケは、持ち帰って飾ったり、ドライフラワーにしたりできるんだって。「ママ、プレゼント！」サプライズでブーケを受け取ったママは、思わず笑顔になりました。



お兄ちゃんと妹、それぞれのブーケ



あいくるからのメッセージ



普段できない体験を屋上で

あいくるでは、子どもたちが自主的に参加して体験できるさまざまなプログラムを用意しています。これまで、「グリーンタッチ」に参加された保護者の方からは、「都心で自然とふれあえる機会ができてうれしい」「野菜嫌いの克服につながった」など、うれしいお声がいっぱい届いています。



また、あいくるの絵画教室やダンスなどクラブ活動と同時に利用する方も多く、「兄弟で利用できて、保護者は天神の用事ができる」といったお声も。「ここでは、普段できない体験ができて、子どもたちの興味が広がるのが最大の魅力です。ぜひ、気軽に遊びに来て楽しい時間を過ごしてくださいね」と語るのは、あいくるの平川さん。

これからも植物の成長や季節の移り変わりを体感できる「グリーンタッチ」のプログラムをお届けします！



屋上の緑を守る、福岡市立中央児童会館 あいくるの平川資穂さん(中央)と左から緑のコーディネーターの坂本和子さん、米倉治美さん、吉村博さん、中川和子さん

Information

福岡市立中央児童会館あいくる
福岡市中央区今泉1丁目19・22 天神CLASS6階
お問い合わせ 092-741-3551

花育活動「グリーンタッチ」
【日時】毎月第一土曜日13時30分～14時30分
【事前申込】不要 【費用】無料
【対象年齢】小学生・中学生・高校生・幼児と保護者

未来へ、つなぐ。

野山は、春夏秋冬を教えてくれる。
旬の食材も、遊び道具の作り方も、ときには生きる知恵さえも。
もし、自然界に恩返しができるとすれば、
それは、たくさんの思い出を次世代に継承することかもしれない。



少し斜めに
傾けるのがポイント。
10メートル以上
飛ぶことも!



(上) 竹とんぼを組み立てて飛ばすワークショップは大人気! (下) 炭にする竹は大きさを揃えて入れ、下段に細い竹や端材を入れて火をつける。

福岡市の中心部から30分ほど車で走ると、脇山野営場に到着する。青空の下、緑のグラウンドが広がるカブ広場に足を踏み入れると、14名の皆さんが早朝から集まって作業をしていた。

カブ広場は一番手前にある集合スペースで、奥には脊振山系の山懐に抱かれた里山が広がり、手入れが行き届いたキャンプ場もある。これらをすべて整備しているのは「脇山野営場協力隊」の皆さんで、運営者である一般財団法人ボーイスカウト福岡県維持財団が青少年たちのために週1回集まって、草刈りなど里山の環境整備をしているとのこと。

「わあ懐かしい、竹とんぼ!」早速、組み立てる前のペラの束を持って田中さんにお話を聞いてみた。田中さんは脇山野営場で伐採した竹を利用して、

ナイフは便利な道具、
正しい使い方を教えたい。



福岡市早良区の脇山野営場。原生林に囲まれながらも自然光が差し込み、草刈りが行き届いた美しい里山景観が保持されている。

子どもたちへの
メッセージ

齋藤 晴夫さん



昭和40年代から問題になっている放置竹林に興味があり、竹炭など竹の活用法を伝えたい。

田中 耕太郎さん



竹で遊んだり、小刀を使ったり、我々が昔やっていた遊びを継承していたらうれしい。

佐藤 福一朗さん



19名のメンバーで整備をしています。G.W.は250人の利用者がケガなく過ごせました!



(左) 里親に出すどんぐりの育苗ポット (右) 橋も伐採した木を再利用して造る。手すりがあり安全性にも考慮 (下) 原木シイタケの収穫に備えて積木起こしを行う



原木シイタケは
香り豊かで、
煮ても焼いても
美味しい!

「もっと、恵子と森に行けばよかった。それが、この活動の原点かな?」

竹のチップや
小枝を入れた
植物性の堆肥を
まぜまぜ



(上) 木くずも堆肥にして森に返せば立派な資源になる (下) 草刈り作業は子どもたちの安全を支える縁の下の力持ち (右) 古木のマーキング作業

竹とんぼや水鉄砲、木のスプーンなどを作っている。例えば、小学校や企業のイベントでは、竹とんぼ作りと竹飯作りをセットにして出前授業を行い、収益は会の活動費に充てる。子どもが使用できるナイフは34本(左利き用4本含む)あり、使い方も丁寧に指導する。「ナイフは便利な道具です。危ないからと言って取り上げるのではなく、正しい使い方を教えない」というのは切なる願いだ。

また、竹炭を作るのが得意な館さんは、ドラム缶を使って4〜5時間蒸し焼きにし、一度に2〜3キロの竹炭を作る。上手に焼けた竹炭は冷やすと硬度があり「キンキン」と高い音がする。脱臭剤としても利用で

き、袋詰めにした竹炭はイベントなどで販売することもある。「脇山野営協力隊」では竹の再生利用以外にも、薪割りや橋造りなど、それぞれの得意分野を生かした活動をメインに、田植えや茶摘みなど地域の行事にもサポーターとして足を運んでいる。

伐採、そして植樹、自然界の循環を伝えたい。

したり、シイタケの原木にしたりする。そう、ここではシイタケの栽培も行っているのだ。栽培役を買って出たのは、経験豊富な谷本さんだ。

春、切り揃えたクヌギの木を原木にしてシイタケの菌を打ち込み、菌を繁殖させた積木を立てかけておくと、一夏経過した秋に初めての収穫ができる。昨年の秋は豊作で、採れたてのシイタケはみんな塩焼きにして食べたそう。ここは温度と湿度のバランスが栽培に適していて、今後も5〜6年は収穫できる見込みだ。「シイタケは、切って冷凍したものを味噌汁の具にするのと3倍ぐらい美味しくなる」と裏技も教えてくれた。

また、この活動の発起人のひとりである後藤さんは「これからは、どんぐりの里親制度にも力を入れたい」と語る。子どもたちと一緒にこの森で拾ったどんぐりを幼稚園などで育ててもらい、発芽させた苗を再び福岡市の水源林に植えるのだ。現在、幼稚園の年中行事に加える方向で調整が進んでいる。皆、「自分たちの子育てでやり残したことがこの活動の原点」と口を揃える。

後藤 武士さん



子どもたちには疑問に思ったことは、追及してもらいたい。体験して肌で感じたことが本物です。

別府 洋一郎さん



幼い頃、山で大きな木を見上げて崇高な気持ちになった。この思いを絵本にして残したい。

谷本 進さん



どんぐりからクヌギを育てて、シイタケの原木やカブトムシの森を残してあげたい。

田宮 義彦さん



杉を切る親子の笑顔を見てこの活動を続けたいと思いました。今日は花壇を再生します!

甲斐 千秋さん



刈っても刈っても草が伸びてくるけど、キャンプ場の利用者のためにきれいに刈りたい。

宮田 研治さん



森を整備して、未来の子どもたちに、美しい森ときれいな水を残してあげたい。



×
Welcome
to
Dreamland!

「草刈り、古木の伐採、竹の再利用、台風の後片付けなど作業は次々と発生するが、苦勞よりも喜びが上回る」と語る皆さん。利用者の安全は彼らの笑顔が支えている。

平均年齢73歳。
豊かな自然をともに感じたい。

森の中を一通り見学してカブ広場に戻ってくると、ちょうどお昼ご飯のカレーが鍋いっぱい出来上がったところだった。

昼食は、一人300円。飯盒にチャリンと入れて、大家族みたいに「いただきます」。皆さん、箸（スプーン）が止まらず充実した顔をしている。会長の堀さんは「水曜日待ち速しい。自然の中で幼い頃から培った知恵や技術を、もっとたくさんの人に広めたい」と語る。

現在、会員の平均年齢は73歳。近年は自然が好きで40〜50代の方や女性の方も入会しているが、まだまだ人手は足りない。「何も知らなくても大丈夫。鎌を持ったことがなくても大丈夫。5年もすれば、特技は自然が教えてくれますよ。ぜひ一緒に、自然とふれあいましょ」と堀さん。

手から手へ、ここには未来へつなげたい叡智がある。

空の下で
食べるカレーは
最高♪



メニューは、タケノコや猪汁、肉うどんの日もある。みんなで干し柿や柚子胡椒を作ることも。大地の恵みやいのちに感謝を込めて。



一緒に活動
しませんか？
お問い合わせは
右記HPまで

脇山野営場協力隊
2008年4月福岡市水源林ボランティアの会が発足し、その中の有志が「脇山野営場協力隊（福岡市早良区脇山1780-2）」として毎週水曜日9時30分から15時30分、現在19名で活動中。草刈りや植樹、間伐作業など水源林の保全、自然環境の大切さを広める取り組み、安全講習など活動は多岐にわたる。



野営場は子どもたちが利用するので、安全を第一に、今日は雨が溜まる溝を整備します。



子どもたちが安全な森を散歩できるように、竹林を整備して遊歩道の周りに花を植えます。



竹の再生をはじめ、ナイフやロープの使い方など、万が一の時に役立つ技術を伝えます。

ハッピーフラワーマルシェ

令和5年5月28日(日) 主催/ハッピーフラワーマルシェ実行委員会



ゆったりした空気が流れている
ボタニカルライフスクエア



Welcome

花のアーチで
来場者の皆さまを
お出迎えしました

**花と緑がつなぐ
人と人の
出会いのマルシェ**

鮮やかな緑の中に包まれたボタニカルライフスクエアで、花でいっぱい溢れたマルシェが開催されました。ハンドメイド作家さんの出店やプランツキーの販売、ブーケのワークショップなど多彩なメニューのマルシェです。花が持つストレス軽減効果や人と人の繋がりを通じて、笑顔溢れる一日でした。

どれどれ

アスナロの
葉っぱの裏側は
不思議な模様だな～



秋の七草オミナエシに
ちようちょうが「こんじちは」

月夜のうさぎ会

令和5年9月10日(日) 主催/よりどりみどり



四季の
お花の
おはなしを

オリジナル絵本の読み聞かせと工作、植物の観察会のワークショップが行われました。植物の観察会では秋の七草や植物の不思議に触れて興味津々。工作ではシーリングスタンプとお花を使って、自分だけの作品づくりに熱中。秋の自然を身近に感じながら、子どもたちの創造力を引き出すワクワクが溢れるイベントでした。



緑のコーディネーター 能瀬綾香さん
オリジナル絵本「しんげつのおまじない」

Information

福岡市植物園ボタニカルライフスクエアは、様々なイベントにご活用いただけます！



ボタニカルライフスクエアは、一人一花運動の拠点である福岡市植物園において、360度植物に囲まれたロケーションを活かして、緑のある空間や生活の良さを感じてもらい、花や緑のあるライフスタイルの発見、発想、発信を生み出す施設です。

【場所】福岡市植物園 芝生広場北側 (〒810-0033 福岡県福岡市中央区小笹5-1-1)
【ご利用時間】午前の部/9時~12時、午後の部/13時~17時
※日貸しも可能 ※夜間などの時間外利用や休園日の利用も可(要協議)
【貸出備品】テーブル、椅子、パーテーション、プロジェクター、スクリーンなど

お問い合わせはHP/

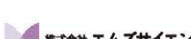
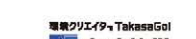
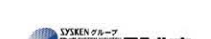
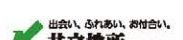
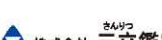
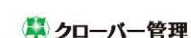
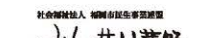
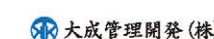
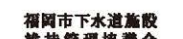
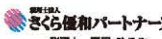
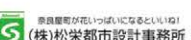
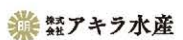
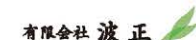
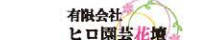
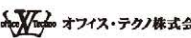
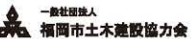
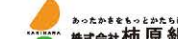
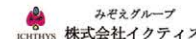
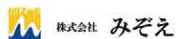
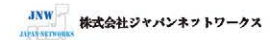
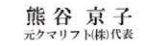
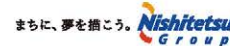




花でまちに彩りと潤いを! 福岡都心部にあなたも 「おもてなし花壇」を持ってみませんか?

いま、天神・博多駅地区など福岡都心部は、花によりまちに彩りと潤いがあふれています。これは「一人一花(ひとりひとりはな)」、「一企業一花壇(いちぎぎょうひとかだん)」を合言葉に、皆さまと進めている一人一花運動によるもので、多くの市民や企業の皆さまのご参加により「花による福岡の未来のまちづくり」が進み、まちの魅力やまちの価値が高まってきています。

この「一人一花運動」の一つ、「おもてなし花壇」では、スポンサー協賛企業様を募集しています。皆さまも福岡都心部に「私たちの花壇」を持ち、花による共創のまちづくりや、おもてなし景観づくりに参加してみませんか?



公益財団法人 福岡市緑のまちづくり協会 事業のご案内



緑と花と人。
未来へつなぐ
かけがえのない
まちづくり。

1 花と緑によるまちづくりの推進

緑化活動団体を支援

- 地域の森づくり
22団体(令和5年10月現在)
市内にある森の保全や、植樹による緑の名所づくりに取り組む団体に助成金を交付。
- 地域の花づくり
228団体(令和5年10月現在)
公園や道沿い、駅前などで花壇づくりを行う団体に助成金を交付。



緑のコーディネーターの養成・紹介・派遣

市民協働による緑のまちづくりを推進するため、花緑に関する指導やアドバイザーとして福岡市の認定を受けた309名(令和5年10月現在)が、緑のコーディネーターとして活動中です。

- 養成講座の実施
緑に関する一定の知識・技術がある方を対象に、緑のコーディネーター養成講座全10回を実施。
- 紹介・派遣
花壇づくりや樹木ガイド、花や緑に関する体験講座など依頼に適したコーディネーターを紹介。

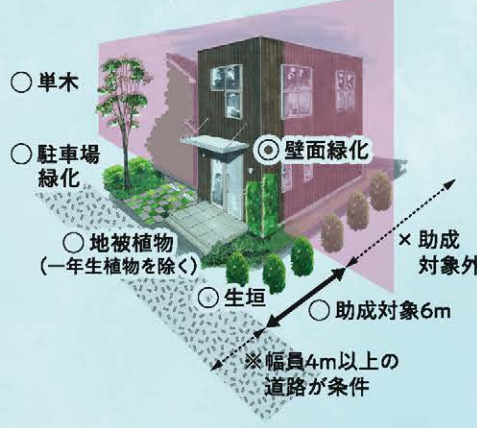


都市緑化基金の運営

情報誌「Machi+o Midori」の発行
福岡市情報プラザ(福岡市役所1階)や各区民センターで配布。

緑化助成

緑あふれる街並みの形成を目的として、道路から見える民有地の緑化に助成します。



都市緑化の普及啓発

- 一人一花サミット
一人一花サミット2022
- 一人一花スプリングフェス
- ボタニカルライフスクエアの運営

- さくらまつり
- 花と緑のまちづくり賞
- 写真コンテスト

都市緑化に関する調査研究

2 街路樹などの維持管理 (良好な都市環境の創造、安心・安全なまちづくりの推進)

- 危険箇所の応急作業
- 街路樹診断
- 受託者研修

街路樹維持管理の設計・監督、市民要望対応、巡回点検、応急作業などにより、街路樹を健全に育成・管理するとともに、道路空間における市民の安全を確保するための業務を行っています。

3 東平尾公園の管理・運営 (指定管理)

- イベントの運営
- 競技場の芝生管理

バックヤードツアー開催!
日頃入ることができない選手ロッカールームやスタンドの舞台裏など、リニューアルしたベスト電器スタジアムを見学。ウォーミングアップ場で選手気分を体験したり芝生の管理作業も見ることができます。
詳しくは [ベストバックヤードツアー](#) へ

4 舞鶴公園の管理・運営 (指定管理)

- 福岡城址
- 平和台陸上競技場
- イベントの運営

5 緑のまちづくり協会駐車場・公園などにおける 便益施設の管理・運営

- 収益事業について
駐車場や公園便益施設などの管理運営を行っています。都市機能の増進および公園利用者の利便を図るとともに、その収益金を都市緑化推進事業の財源として活用しています。

45号読者アンケート&プレゼント!

よりよい情報誌をお届けすることを目的とし、アンケートを実施しています。お答えいただいた方の中から抽選で「図書カード(1,000円分)」を3名様にプレゼント!

皆さまのご応募をお待ちしています!!

〈締め切り期日〉
2024年2月末日

「都心の森1万本プロジェクト」～豊かなまちへ～

緑が持つ魅力により、まちに「彩り」を加え、憩いや安らぎを感じられる空間を創出するために——市民や企業と共働して、新たに樹木を植え、今ある緑をより美しくするとともに、民有地における緑化誘導により、良好な都市景観の形成や都市環境の改善を図り、緑豊かなまちづくりを推進します。



皆さまのご協力をお願いします

寄付・募金の お願いです

基金の募金箱は福岡市植物園、福岡市情報プラザ(福岡市役所1F)などに設置しています。みなさまのご協力をお願いします。

花とみどりに溢れるまちづくりを支える 福岡市都市緑化基金

福岡市都市緑化基金は、(公財)福岡市緑のまちづくり協会が運営母体となり、市民の皆さまや民間企業からいただいた寄付金を積み立て、その運用利息等を利用して、都市の緑化を進めるための基金です。

【福岡市都市緑化基金の仕組み】



おもてなし花壇事業のご案内です

福岡都心部に 「皆さまの花壇」をもちませんか?

福岡市では、市民や企業・行政が力を合わせ、花と緑を育てることで、まちが彩りや潤いにあふれ、誰もが福岡に親しみや愛着を持ち、豊かな心が育まれる一人一花運動の一環として、歩道や中央分離帯などに、花を植え、街を彩るために協賛いただけるスポンサー企業を募集しております。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

詳しくは [福岡市 おもてなし花壇](#) をご覧ください! /

福岡市一人一花推進課 ☎092-711-4424

寄付金の 税控除について

「福岡市都市緑化基金」に対する寄付には、所得税、福岡市の個人住民税で、寄付をした翌年の寄付金税額控除の適用が受けられます。
手続きなど、詳しくは、お気軽にご相談ください。

募金について お申し込み・ご相談

(公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 企画推進係
☎092-260-8816



協会事務所
〒810-0033
福岡市中央区小笹5-1-1
(福岡市植物園 緑の情報館内)
TEL 092-260-8816
FAX 092-401-1384



東平尾公園管理事務所
〒812-0852
福岡市博多区東平尾公園2-1-2
(陸上競技場入口)
TEL 092-611-1515
FAX 092-611-8988



舞鶴公園管理事務所
〒810-0043
福岡市中央区城内1-4
(陸上競技場入口)
TEL 092-781-2153
FAX 092-715-7590



公益財団法人
福岡市緑のまちづくり協会

www.midorimachi.jp

緑のまちづくり協会

